

平成二十四年十一月定例会（十一月二十九日）

# 長野広域連合議会会議録

長野広域連合議会



平成二十四年十一月二十九日(木曜日)

出席議員(三十名)

第一番	竹内重也議員
第二番	市川和彦議員
第三番	寺澤和男議員
第四番	寺沢さゆり議員
第五番	小林義直議員
第六番	岡田莊史議員
第七番	松井英雄議員
第八番	小林秀子議員
第九番	塩入学議員
第十番	布目裕喜雄議員
第十一番	小林義和議員
第十二番	野々村博美議員
第十三番	豊田清寧議員
第十四番	佐藤壽三郎議員
第十五番	永井康彦議員
第十六番	田沢佑一議員
第十七番	宮坂重道議員
第十八番	和田英幸議員
第十九番	宮島祐夫議員
第二十番	入日時子議員
第二十一番	小淵晃議員

第二十二番	関谷明生議員
第二十三番	水谷清議員
第二十四番	内山信行議員
第二十五番	松木昭一議員
第二十六番	福澤恵美子議員
第二十七番	西沢寅夫議員
第二十八番	久保田陽一議員
第二十九番	寺島涉議員
第三十番	塚田實議員

欠席議員(なし)

説明のため会議に出席した理事者

広域連合長(長野市長)	鷲澤正一君
副広域連合長	黒田和彦君
会計管理者	雨宮一雄君
監査委員	増山幸一君
理事(須坂市長)	三木正夫君
理事(千曲市長)	岡田昭雄君
理事(坂城町長)	山村弘君
理事(高山村長)	久保田勝士君
理事(信濃町長)	松木重博君
理事(小川村長)	伊藤博文君
理事(飯綱町長)	相澤龍右君

公務のため欠席した理事者

理事（小布施町長）

市村良三君

説明のため会議に出席した職員

（事務局職員）

事務局長

善財孝文君

事務局参事兼環境推進課長

土屋文治君

事務局次長兼福祉課長

若林今朝長君

総務課長

和田秀晴君

環境推進課調整幹兼課長補佐

海沼健一君

総務課長補佐

新井芳美さん

福祉課長補佐

仁科良勇君

福祉課長補佐

中島威君

環境推進課建設推進室長

相澤武彦君

総務課係長

池田順英君

環境推進課係長

稲葉聡子さん

環境推進課係長

長野将君

環境推進課建設推進室係長

宮澤洋一君

環境推進課建設推進室係長

青木猛治君

環境推進課建設推進室係長

西条己智男君

環境推進課建設推進室係長

桑原義敬君

職務のため会議に出席した職員

総務課長補佐

藤澤勝彦君

総務課主査

青木淳君

総務課主事

深谷正樹君

## 議 事 日 程

午後一時三十分 開会

- 一 開会、開議
- 一 会期の決定
- 一 議席の指定
- 一 会議録署名議員の指名
- 一 諸般の報告
- 一 副議長選挙について
- 一 常任委員会委員の選任について
- 一 議会運営委員会委員の選任について
- 一 常任委員会委員の所屬変更について
- 一 議案第八号及び認定第一号
  - 一 一括上程、理事者説明、質疑、委員会付託
- 一 議案第九号上程、理事者説明、質疑・討論省略、採決
- 一 委員長報告
- 一 委員長報告に対する質疑、討論、採決
- 一 常任委員会委員の選任について
- 一 議会運営委員会委員の選任について
- 一 常任委員会及び議会運営委員会正副委員長互選の結果報告
- 一 常任委員会・議会運営委員会閉会中継続調査申出について
  - 一 上程、決定
- 一 広域連合会長挨拶
- 一 閉会

○議長（岡田荘史議員） ただいまのところ、出席議員数は三十名でございます。います。

よって、会議の定足数に達しておりますので、これより平成二十四年十一月長野広域連合議会定例会を開会いたします。

午後一時三十分 開議

○議長（岡田荘史議員） 本日の会議を開きます。

会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期につきましては、議会運営委員会の意見を徴しました結果、本日一日といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡田荘史議員） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日一日と決定いたしました。

なお、日程につきましては、お手元に配付のとおり行いたいと思っておりますので、御了承をお願いいたします。

次に、広域連合議員に一部異動がありましたので、「議席の指定」を

議題といたします。

議長から異動のあつた十名の議席を指定したいと思ひますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(岡田荘史議員) 御異議なしと認めます。

ただいま、御着席の氏名表示板に記載してあります番号のとおり、議席を指定いたします。

該当の議員さんは、お手元の名簿の順に自席で自己紹介をお願いいたします。それでは、一番の竹内重也議員からお願いをいたします。

○一番(竹内重也議員) 議席番号一番、長野市議会、竹内重也でございます。よろしく申し上げます。

○二番(市川和彦議員) 議席番号二番、長野市大豆島の市川和彦でございます。よろしく申し上げます。

○四番(寺沢さゆり議員) 議席番号四番の寺沢さゆりと申します。よろしく申し上げます。

○七番(松井英雄議員) 議席番号七番、長野市議会の松井英雄でございます。よろしく申し上げます。

○八番(小林秀子議員) 八番の小林秀子でございます。よろしく申し上げます。

○十番(布目裕喜雄議員) 同じく長野市議会の布目裕喜雄でございます。よろしく申し上げます。

○十二番(野々村博美議員) 十二番、野々村博美です。よろしく申し上げます。

○十六番(田沢佑一議員) 十六番、千曲市議会の田沢佑一です。よろしく申し上げます。

○十七番(宮坂重道議員) 議席番号十七番、千曲市の宮坂重道です。よろしく申し上げます。

○十八番(和田英幸議員) 十八番、千曲市議会の和田英幸です。よろしく申し上げます。

○議長(岡田荘史議員) 次に、議事録署名議員を御指名申し上げます。五番、小林義直議員、十六番、田沢佑一議員、以上二名の方を指名いたします。

この際、諸般の報告をいたします。  
監査委員から、平成二十四年四月分から九月分の一般会計、特別会計

の例月現金出納検査及び定期監査の結果について、議長の手元に報告書  
がまいっておりますので、御報告いたします。

次に、人事の紹介を申し上げます。

過般、理事者に異動がありましたので、御紹介申し上げます。

自己紹介をお願いします。

○理事（岡田昭雄君） こんにちは。千曲市長の岡田昭雄でございます。

お世話になります。

十一日の選挙で初当選をさせていただきました。近藤市長、前市長で  
ありますが、病气辞任ということで、急遽選挙になりました。当選をさ  
せていただきました。近藤前市長の状況でございますが、おかげさまで  
経過も順調に進んでおります。多分、来月の半ばには退院されるので  
はないかと思っておりますが、どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げ  
ます。ありがとうございます。

○理事（久保田勝土君） 高山村村長の久保田勝土でございます。引き続  
き大変お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

○議長（岡田荘史議員） それでは議事に入ります。

初めに、議会第二号「長野広域連合議会副議長選挙」を行います。

お諮りいたします。

議長選挙の方法につきましては、地方自治法第百十八条第二項の規定  
により、指名推選の方法をとりたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡田荘史議員） 異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は、指名推選によることと決定しました。

お諮りいたします。

指名の方法については、議長において指名することにいたしたいと思います  
ますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡田荘史議員） 異議なしと認めます。

よって、議長において指名することに決しました。

副議長に十三番、豊田清寧議員を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま指名いたしました豊田清寧議員を、副議長の当選人と定める  
ことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡田荘史議員） 異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました豊田清寧議員が、副議長に当選さ  
れました。

ただいま当選されました豊田清寧議員が議場におられますので、本席から副議長の選挙の当選人である旨の告知をいたします。

当選人の発言を求めます。

十三番、豊田清寧議員。

○副議長（豊田清寧議員）　こんにちほ。ただいま副議長に御薦拳いただきました、須坂市議会の豊田清寧でございます。誠に浅学非才ではございますけれども、岡田議長さんを補佐させていただきながら、広域の、いわゆる福祉関係の施設、それからまた、ごみ処理施設などを含めましてですね、長野広域の管内の発展のために全力を尽くしてまいりたいと、このように思いますので、皆様方の御支援のほどをよろしくお願いしたいと思えます。

○議長（岡田荘史議員）　次に「常任委員会委員の選任」を行います。

本件につきましては、先に広域連合議会議員に一部異動がありました。

このため、長野広域連合議会委員会条例第七条第一項の規定により、議長から後任の委員を指名申し上げます。

総務委員会委員に、寺沢さゆり議員、松井英雄議員、野々村博美議員、宮坂重道議員、和田英幸議員、以上五名の方を指名いたします。

続きまして、福祉環境委員会委員に、竹内重也議員、市川和彦議員、小林秀子議員、布目裕喜雄議員、田沢佑一議員、以上の五名の方を指名いたします。

次に、議会運営委員会委員の選任を行います。

本件に関しましては、先に広域連合議会議員に一部異動がありました。このため、委員会条例第七条第一項の規定により、議長から後任の委員の指名を申し上げます。

議会運営委員会委員に、寺澤和男議員、小林秀子議員、塩入学議員、和田英幸議員、以上四名の方を指名いたします。

次に、常任委員会委員の所属変更を行います。

福祉環境委員会委員の塩入学議員から、総務委員会に所属を変更されたい旨の申し出がありますので、総務委員会委員に所属を変更することといたします。

続いて議事に入ります。

議案第八号及び認定第一号、以上二件、一括議題といたします。

理事者からの提案理由の説明を求めます。

鷲澤広域連合長。

○広域連合長（鷲澤正一君）　御苦勞様でございます。本日、ここに平成二十四年十一月長野広域連合議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、それぞれ市町村の十二月定例議会を控えまして、何かとお忙しい中、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

初めに、この場をお借りしまして、先般、本広域連合養護老人ホームの非常勤職員が本人名義の銀行口座を他人に譲渡したことや、詐欺などの違法行為を行ったことに対して、議員各位に深くお詫びを申し上げます。ものでございます。

職員につきましては、既に厳正に処分いたしましたところでございますが、



本広域連合に対する信頼を損なう事態となりましたことは、誠に遺憾であり、今後、服務規律の確保について一層徹底を図り、全職員を挙げて再発防止と圏域住民の皆様の信頼回復に努めてまいり所存であります。

さて、開会に当たりまして、本広域連合の主要事業の状況について申し上げます。

まず、ごみ処理施設の整備について申し上げます。

ごみ処理施設の稼働目標年度であります。建設候補地である長野市、須坂市及び千曲市の地元協議や各種調査の進捗状況等から、平成二十六年中の稼働は極めて困難と判断し、稼働目標年度を現行より四年遅らせ平成三十年度中に変更することを先の理事会において決定させていただきましたので、よろしくお願いをいたします。

稼働目標の変更に当たりましては、それぞれの市町村に多大な御迷惑をおかけすることになります。長野市に計画しておりますA焼却施設につきましては、今月初めに焼却施設の周辺環境整備基本計画案を地元の皆様へ提示し、私から年内の建設同意をお願いしたところでもありません。一日も早く施設整備ができるよう取り組んでまいり所存でございます。一日も早く施設整備ができるよう取り組んでまいり所存でございます。一日も早く施設整備ができるよう取り組んでまいり所存でございます。

また、須坂市及び千曲市におかれても、早期の地元同意に向けて、それぞれ大変御尽力をいただいております。早期の地元同意に向けて、それぞれ大変御尽力をいただいております。早期の地元同意に向けて、それぞれ大変御尽力をいただいております。

次に、本広域連合が計画しております須坂市に続く次期最終処分場の検討について申し上げます。

最終処分場につきましては、現在、須坂市において地元協議を鋭意進めていただいておりますが、埋立容量や埋立期間に限りがあることを踏

まえ、また、建設までの時間的なことも考慮しますと、須坂市の次の候補地の選定を今から始めていく必要があると考えておりますので、今後、関係市町村において検討を進めてまいります。

ごみ処理施設の整備は、本広域連合にとって最重要課題でございます。早期に施設建設の地元同意を得られるよう、議員の皆様におかれましては、一層の御協力をお願いする次第でございます。

次に、高齢者福祉施設の運営について申し上げます。

平成二十三年度の老人福祉施設等運営事業特別会計の決算状況は、スプリンクラーを松寿荘、矢筒荘の二施設に設置したことなどから施設整備費が増加いたしました。調理業務の委託化や運営費の節減などに努めた結果、実質収支につきましては、一億一千万円ほどの赤字となり、健全財政を堅持できたものと考えております。

今後引き続き、安心、信頼が福祉の原点であることを認識し、御利用者へのサービス向上と健全な施設運営に努めてまいり所存であります。次に、本広域連合の高齢者福祉施設の社会福祉法人化について申し上げます。

第一次社会福祉法人化推進計画に基づき、平成二十二年四月に移管した特別養護老人ホーム七二会荘に続き、二例目となります特別養護老人ホーム杏寿荘の社会福祉法人への移管先でございますが、去る十月三十日の理事会において千曲市内の社会福祉法人「大志会」、理事長「竹内伊吉氏」と決定いたしました。

今後は、平成二十六年四月にスムーズに移管ができますよう、大志会と詳細にわたり協議し、御利用者並びに御家族の皆様に移管して良かつ

たと言われるよう着実に進めてまいります。

最後に、「長野地域ふるさと事業」についてでございますが、長野地域の振興整備のための事業として、平成二十二年度から「人が集う地域づくりプロジェクト」事業を実施しておりますが、本年度は「宿泊・滞在」をテーマに、長野地域の魅力をイベントや各種のメディアを通じて県内外に情報発信しております。

今後も「ふるさと基金」を有効に活用しながら、関係市町村や関係団体との連携により、長野地域の活性化のための事業を積極的に推進してまいります。

以上、本広域連合の主要事業の状況について申し上げますが、引き続き関係市町村との緊密な連携により、事業の推進に努めてまいりますので、議員各位の一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

さて、本定例会に提出させていただきました案件は、平成二十四年度特別会計補正予算のほか、人事案件、認定案件それぞれ一件の三件であります。

詳細につきましては、人事案件は私から、その他の案件は副広域連合長から説明申し上げますので、十分な御審議をいただき、御決定いただきますようお願い申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（岡田壮史議員） 黒田副広域連合長。

○副広域連合長（黒田和彦君） 私から、本定例会に提出いたしました各

議案について御説明申し上げます。

初めに、議案第八号「平成二十四年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計補正予算について」御説明申し上げます。

補正予算書の一ページを御覧いただきたいと思っております。こういった薄い冊子ですが、この一ページを御覧いただきたいと思っております。

今回の補正予算は、第一条で歳入歳出にそれぞれ一億二千三百八十八万九千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ三十二億三千二百三十六万円とするものでございます。

補正の内容であります。四ページをお開きください。四ページを御覧いただきたいと思っております。

まず、下段の「歳出」から御説明を申し上げます。

一款、民生費、六項、一目の財産管理費の補正額、一億一千三百八十八万九千円は、財政調整基金から生じた利子と、平成二十三年度において繰越した各施設の決算剰余金を財政調整基金として積み立てるものでございます。

次に、上段の「歳入」でございます。

三款、財産収入、一項、一目、利子及び配当金の補正額、二百九十七万六千円は、財政調整基金の運用利子収入でございます。

七款、一項、一目、繰越金の補正額、一億二千九百九十一万三千円は、各施設の平成二十三年度決算剰余金でございます。

続きまして、認定第一号「平成二十三年度長野広域連合一般会計・各特別会計決算の認定について」御説明を申し上げます。

冊子になっておりますが、この決算書を御覧いただきたいと思っております。

まず、表紙をめくっていただきますと目次がございます。その目次の裏側を御覧いただきたいと思えます。

「平成二十三年度長野広域連合一般会計・特別会計決算総括表」を御覧いただきたいと思えます。

まず、一番上の段の表でございますが、平成二十三年度の一般会計と特別会計をあわせた決算総額、これは「歳入」が四十一億八千六万三千二百二十三円、「歳出」が三十八億四千八百八十二万五千七百四十六円でございます。歳入歳出差引残額は、三億三千二百四十七万七千七百七十七円でございます。

次に、その下の表一、「一般会計」の決算について御説明申し上げます。

「歳入」の収入済額は、Bの欄、六億九千二百一十九万九千九百十円で、予算現額に対し、その右の欄、BマイナスAの欄でございますけれども、七千六百四十五万一千九百十円の収入増、収入率は百十二・四%でございます。

次に、「歳出」の支出済額は、Cの欄、五億二千四百三十五万三千三百九十三円でありまして、予算現額に対し、AマイナスCの欄ですが、一億百二十九万六千六百七十七円が残額となりまして、執行率は八十三・五%でございます。

歳入歳出差引額は、BマイナスCの欄、一億七千七百七十四万八千五百七十七円でございます。

次に、その下の表の二、「老人福祉施設等運営事業特別会計」について御説明申し上げます。

「歳入」の収入済額は、Bの欄、三十二億五千三百七十二万八千三百七十七円で、予算現額に対し、BマイナスAの欄、四千九十万六千六百二十三円の減となりまして、収入率は九十八・八%でございます。

次に、「歳出」の支出済額は、Cの欄、三十一億四千二百八十一万九千九百九十八円で、予算現額に対し、AマイナスCの欄、一億五千八百一十二万五千二百円が残額となりまして、執行率は九十五・四%でございます。

歳入歳出差引残額は、BマイナスCの欄で一億一千九十万八千三百七十九円でございます。

次に、一番下の表三、「長野地域ふるさと事業特別会計」について御説明申し上げます。

「歳入」の収入済額は、一億六千二百二十三万二千九百三十六円で、予算現額に対し、一千三百七十一万五千九百三十六円の増となりまして、収入率は百九・二%でございます。

次に、「歳出」の支出済額は、一億四千七百六十四万二千三百五十五円で、予算現額に対して八十七万四千六百四十五円が残額となりまして、執行率は九十九・四%でございます。

歳入歳出差引残額は、一千四百五十九万五千八百八十一円でございます。以上、一般会計及び各特別会計の決算の概要について御説明を申し上げます。詳細につきましては、御覧の決算書のほか、これに添付しております、三ページ以下でございますけれども、歳入歳出決算事項別明細書等を御参照いただきたいと存じます。

以上、よろしく御審議の上、御認定くださいますようお願いを申し上げます。

げます。

○議長（岡田荘史議員） 以上で説明を終わります。

次に、増山監査委員から発言を求められておりますので、許可いたします。

増山監査委員。

○監査委員（増山幸一君） 私から、監査委員を代表いたしまして、ただいま提案説明されました認定第一号、平成二十三年度長野広域連合一般会計及び各特別会計の決算について、西沢委員とともに審査を行いましたので、その結果について申し上げます。

審査にあたりましては、広域連合長から審査に付されました各会計の決算書及びその付属書類並びに基金の運用状況を示す書類につきまして、会計管理者、関係課及び関係施設所管の諸帳簿、証書類と照合するとともに、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、関係職員の説明を聴取するとともに、現場実査により審査をいたしました。

その結果、決算書類等はいずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿と符号し、正確であるものと認められました。

予算の執行状況は、一部に検討及び改善を要する事例が見受けられたが、その目的に沿って、おおむね適正に執行されているものと認めた次第であります。

なお、審査の詳細及び意見につきましては、お手元に配付してございます「平成二十三年度長野広域連合一般会計・特別会計決算及び基金の

運用状況審査意見書」を御覧いただきたいと存じます。

各会計における主な意見は、二ページ以降に記載のとおりであります。このうち主な点を申し上げます。

初めに、老人福祉施設の稼働率についてであります。平成二十三年度の老人福祉施設全体の稼働率は九十七・一％となり、本広域連合が収支改善計画の目標としている九十七・六％を下回る結果となりました。

しかしながら、稼働率が大幅に改善された施設があることから、各種会議において、施設間の情報交換を行うなど、組織内での良い事例を参考にし、退所から次の利用者への入所までの期間短縮を図り、稼働率の向上に一層努めるよう要望いたします。

また、施設整備につきましては、建設後二十五年以上経過した施設が多く、施設の老朽化が進んでおります。施設全体を総点検し、利用者の目線に立った施設整備計画を早急に作成するとともに、計画的な改修を行うよう要望いたします。

次に、ごみ処理施設の建設につきましては、住民の理解と協力を得ることが最大の課題であります。事業の推進に当たっては、関係市町村及び地元地区との連携を図り、住民への積極的な情報公開と住民合意に努めるよう要望いたします。

長野地域ふるさと事業につきましては、長野地域の振興整備のための事業として、平成二十二年度から五か年計画で、人が集う地域プロジェクト事業を実施し、長野地域の情報発信を図っておりますが、今後は新幹線金沢延伸、善光寺御開帳に向け、関係機関と連携しながら首都圏及び北陸圏から誘客を図るとともに、事業による成果を生かしながら、長

野地域がより発展するよう継続的な取り組みを要望いたします。

最後に、長野地域を取り巻く行政サービスについては、市町村の枠を越えて、より高度で広域的になっております。今後の新たな課題に対応するため、これまでの実績を踏まえ、より一層、関係市町村と連携し事業の運営に取り組まれるよう要望いたします。

以上で、決算審査の報告といたします。

○議長（岡田荘史議員） これより議案の質疑に入ります。

なお、発言に当たりましては、議席番号及び氏名をお願いいたします。それでは、質疑に入ります。

議案第八号「平成二十四年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計補正予算」について質疑を行います。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（岡田荘史議員） 進行いたします。

以上で、質疑を終結いたします。

続いて、認定案件の質疑に入ります。

認定第一号「平成二十三年度長野広域連合一般会計・各特別会計決算の認定について」は、会計ごと一括してお願いをいたします。

初めに、平成二十三年度長野広域連合一般会計。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（岡田荘史議員） 進行いたします。

続いて、平成二十三年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（岡田荘史議員） 進行いたします。

平成二十三年度長野広域連合長野地域ふるさと事業特別会計。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（岡田荘史君） 進行いたします。

以上で質疑を終結いたします。

議案第八号及び認定第一号、以上二件、お手元に配付いたしました委員付託表のとおり、それぞれ関係の常任委員会に付託をいたします。

次に、議案第九号「監査委員の選任について」を議題といたします。

地方自治法第一百七十七条の規定により、寺島渉議員の退席を求めます。

（寺島渉議員退席）

○議長（岡田荘史議員） 理事者の説明を求めます。

鷲澤広域連合長。

○広域連合長（鷺澤正一君） 議案第九号「監査委員の選任について」、御説明申し上げます。

これは、二名の監査委員のうち、議会議員から御就任をいただいております。西沢寅夫氏が十一月二十八日をもって辞職されたため、後任の委員として、上水内郡飯綱町大字古町六百八十四番地、寺島渉氏を選任いたしました。地方自治法第九十六条第一項の規定により、議会の同意をお願いするものでございます。

寺島渉氏は、現在飯綱町議会議長に就任されており、また、平成二十一年十一月六日から、本広域連合議会議員に就任いただいているところでございます。何卒、御同意いただきますようお願い申し上げます。

以上です。

○議長（岡田荘史議員） 以上で説明を終わります。

お諮りいたします。

本件に関しては、質疑、討論、委員会付託を省略して、直ちに採決に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡田荘史議員） 異議なしと認めます。

採決に入ります。

採決を行います。

本件を原案のとおり選任について同意することに賛成の諸君の起立を

求めます。

（賛成者起立）

○議長（岡田荘史議員） 全員賛成と認めます。

よって、本件は原案のとおり選任について同意することと決しました。除斥議員の入場を許可いたします。

（寺島渉議員復席）

○議長（岡田荘史議員） ただいまから、常任委員会の開会のため、この際、午後三時五十分まで休憩いたします。

お手元に配付の一覧表のとおり場所を定めますので、開催されますよう御連絡申し上げます。

（休憩） 午後一時五十五分

（再開） 午後四時二十五分

○議長（岡田荘史議員） 委員会の審査の経過並びに結果について、各委

員長から報告を求めます。

初めに、総務委員会副委員長、寺島渉議員。

○総務委員会副委員長（寺島渉議員） 二十九番、寺島 渉でございます。

私から、長野広域連合協議会定例会におきまして、総務委員会に付託されました諸議案の審査の結果につきまして御報告を申し上げます。

審査の結果につきましては、お手元に配付されております総務委員会決定報告書のとおり決定した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（岡田荘史議員） 以上をもちまして、総務委員会委員長の報告を終わります。

続いて、福祉環境委員会委員長、佐藤壽二郎議員。

○福祉環境委員会委員長（佐藤壽二郎議員） 十四番、佐藤壽二郎でございます。

私から、長野広域連合協議会定例会におきまして、福祉環境委員会に付託されました諸議案の審査の結果につきまして御報告申し上げます。

審査の結果につきましては、お手元に配付されております福祉環境委員会決定報告書のとおり決定した次第であります。

次に、委員会において論議され、広域連合に要望いたしました主たる事項について申し上げます。

ごみ処理施設整備に関する各種調査業務について、当委員会に資料を

提出し説明を求めます。

以上で報告を終わります。

○議長（岡田荘史議員） 以上をもちまして、福祉環境委員会委員長の報告を終わります。

ただいまから、各委員長報告に対する質疑、討論、採決を行います。

初めに、福祉環境委員会所管の議案第八号「平成二十四年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計補正予算」、質疑、討論の通告がありますので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（岡田荘史議員） 全員賛成と認めます。

よって、委員長報告のとおり可決されました。

次に、各常任委員会所管の認定第一号「平成二十三年度長野広域連合一般会計・各特別会計決算の認定について」、質疑、討論の通告がありませんので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（岡田荘史議員） 全員賛成と認めます。

よつて、委員長報告のとおり認定されました。

続いて「常任委員会の選任」を行います。

本件につきましては、委員会条例第七条第一項の規定により、議長から指名を申し上げます。

総務委員会委員に、寺澤和男議員、寺沢さゆり議員、岡田荘史、松井英雄議員、塩入学議員、野々村博美議員、豊田清寧議員、佐藤壽三郎議員、宮坂重道議員、宮島祐夫議員、小淵晃議員、水谷清議員、松木昭一議員、西沢寅夫議員、寺島渉議員、以上十五名。

福祉環境委員会委員に、竹内重也議員、市川和彦議員、小林義直議員、小林秀子議員、布目裕喜雄議員、小林義和議員、永井康彦議員、田沢佑一議員、和田英幸議員、入日時子議員、関谷明生議員、内山信行議員、福澤恵美子議員、久保田陽一議員、塚田實議員、以上十五名、それぞれの皆さんを指名いたします。

次に「議会運営委員会委員の選任」を行います。

本件につきましては、委員会条例第七条第一項の規定により、議長から指名を申し上げます。

議会運営委員会委員に、寺澤和男議員、小林義直議員、小林秀子議員、塩入学議員、永井康彦議員、宮坂重道議員、宮島祐夫議員、小淵晃議員、水谷清議員、松木昭一議員、西沢寅夫議員、寺島渉議員、以上十二名の方を指名いたします。

次に、常任委員会及び議会運営委員会の委員長、副委員長の互選のため、委員会条例第九条第一項の規定により、委員会の招集をいたします。

お手元に配付の一覧表のとおり場所を定めますので、常任委員会、議会運営委員会の順で、ただいまから順次開催されますよう御連絡申し上げます。

この際、正副委員長互選のため午後四時四十五分まで休憩いたします。お願いします。

（休憩） 午後四時三十分

（再開） 午後四時五十五分

○議長（岡田荘史議員） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

これより、常任委員会及び議会運営委員会、正副委員長の互選の結果を報告申し上げます。

総務委員会。委員長、佐藤壽三郎議員。副委員長、西沢寅夫議員。

福祉環境委員会。委員長、和田英幸議員。副委員長、内山信行議員。

議会運営委員会。委員長、寺澤和男議員。副委員長、松木昭一議員。

以上のとおりであります。

次に、議会第八号「常任委員会、議会運営委員会閉会中継続調査申出について」お諮りいたします。

本件については、この際、本日の日程に追加し、議題といたしたいと



思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡田荘史議員） 異議なしと認めます。

よって、本日の日程に追加し議題とすることに決しました。

議会第八号「常任委員会、議会運営委員会閉会中継続調査申出について」を議題といたします。

議会議規則第一百一条の規定により、お手元に文書をもって配付のとおり、各常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長から、閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。

各常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡田荘史議員） 異議なしと認めます。

よって、各常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長からの申し出のとおり、決定いたしました。

以上をもちまして、本議会定例会に提出されました案件の審議は全て終了いたしました。

次に、広域連合長から発言を求められておりますので、これを許可し

ます。

鷲澤広域連合長。

○広域連合長（鷲澤正一君） 長野広域連合議会十一月定例会の閉会に当たりまして、御礼の御挨拶を申し上げます。

本日提出いたしました案件につきまして、原案どおり御決定をいただき、誠にありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。

今後関係市町村との連携を図りながら、圏域の住民福祉の向上に努めてまいりますので、議員の皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。

十二月市町村議会を控え、何かとお忙しい時期を迎えておりますが、健康には十分留意されますとともに、ますますの御活躍を祈念申し上げます。御礼の挨拶いたします。

どうもありがとうございました。

○議長（岡田荘史議員） 以上をもちまして、平成二十四年十一月長野広域連合議会定例会を閉会いたします。

午後五時五分

地方自治法第二百三十三條第二項の規定により署名する。

平成二十五年一月三十日

議 長 岡 田 莊 史

副 議 長 豊 田 清 寧

署 名 議 員 小 林 義 直

署 名 議 員 田 沢 祐 一